

問

以下は、少子超高齢化を迎えた我が国のリハビリテーションに関する文章です。文章をよく読み、指示に従ってあなたの考えを記述しなさい。

日本は少子超高齢社会を迎え、人口減少とともに医療職の人材不足が進みつつあります。特にリハビリテーション分野では、要介護高齢者や障害者支援の需要が増える一方で、理学療法士など専門職の確保が難しくなり、地域ごとの医療格差が拡大するなど、持続可能な医療の提供が難しくなることが懸念されています。また今後は、疾病や障害を未然に防ぐ「予防医学」の重要性が増す一方で、住み慣れた地域で生活を支える「地域包括ケアシステム」の中で理学療法が果たす役割の重要性も高まると考えられています。その中で理学療法士は、病院でのリハビリテーションにとどまらず、予防や地域支援に積極的に関わる必要があります。

上記を踏まえ、少子超高齢社会における現状の課題と、予防医学および地域包括ケアの視点から理学療法の今後の可能性、さらに課題解決に向けた提案について、800字以内で論じなさい。